

りゅうおう 議会だより

No. 158
2012.2.1

RYUOH

編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713 (直通) (有)58-3713



● 主な記事 ●

- 平成22年度一般・特別会計決算認定
決算第1・決算第2委員長報告 2~3
- 一般・特別会計補正予算、条例関係
意見書、第5回臨時会 4~5
- 一般質問
10議員が22問 6~12
- 委員会報告 13
- いきいき人生 徳田定夫さん 14

平成23年度決算認定
条例改正
一般会計補正など
平成23年第4回定例会は12月6日か
ら26日までの日程で開催されました。

平成23年 第4回定例会

認

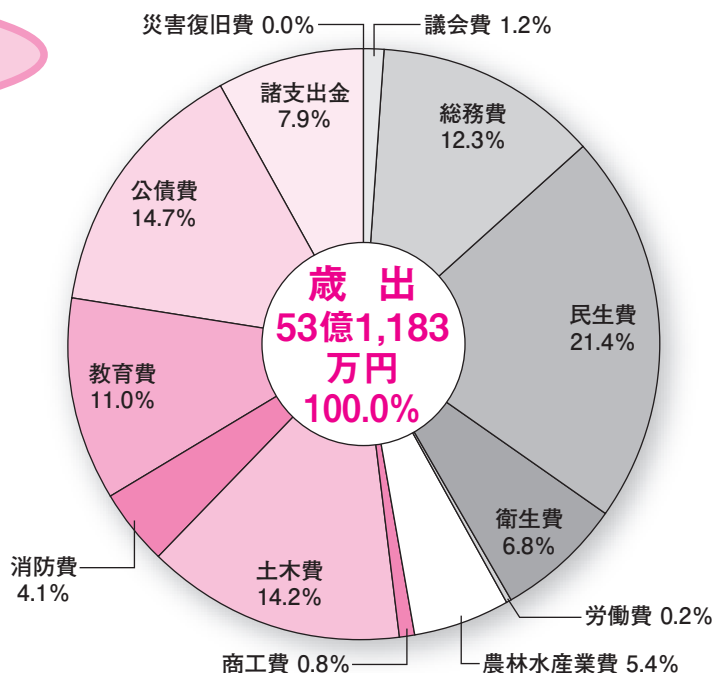
定

実質収支は 2億6,048万円の黒字

歳出総額 53億1,183万円

決算状況

歳出
(目的別)



平成23年 第4回定例会

平成23年12月定例会は、条例改正2件、条例廃止1件、平成23年度一般・特別会計補正予算8件、平成22年度一般・特別会計歳入歳出決算認定8件、町道路線変更1件を原案どおり「可決、認定」しました。また、「障害者総合福祉法（仮称）の早期制定を求める意見書」1件を全会一致で国会および政府に提出することになりました。

平成22年度 決算審査の主な質疑

- 問** プレミアム商品券は、竜王町民だけが購入しているのか。

答 購入した人が町内の人かどうかについては、プライバシーのこともあり確認していません。今後の実施については十分検討していきます。
- 問** 町税の収入未済額が7954万8千円と多額なのはなぜか。

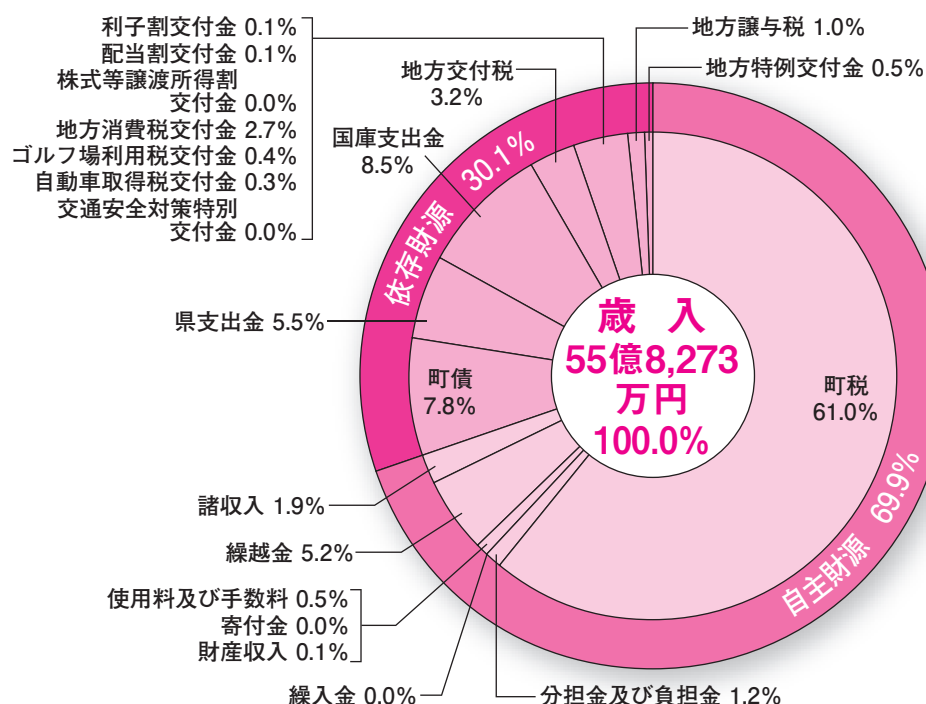
答 大きな原因は、固定資産税3040万2千円の不能欠損処分を行いました。
- 問** 町職員の健康診断の受診率は100パーセントか。また、メンタルヘルスについて十分な対応ができているのか。

答 100パーセントではありませんが、ほぼ実施されています。また、メンタルヘルスの問題については、個々に対応しています。
- 問** 不納欠損処理をしました。この企業は実質倒産しており、その企業の資産などを買い取った別の企業が現在業務をしています。二つの会社には関連がなく、今回は地方税法に基づいて不納欠損の処分をさせていただきます。

平成22年度

決算を

歳入総額 55億8,273万円



平成22年度

歳入

決算に関する意見

●プレミアム商品券の発行事業について、今後も実施される場合は、経済効果が町内に波及し、商業の活性化が図られるよう十分検討されたい。

●教育については、子どもを中心にして、子どもたちと関わりのある人々がお互いに連携を取り合いながら守り育て

るといふ地域の教育力を高めることに力を注がれたい。

●各会計において適正な歳入の確保に努めることは勿論のこと、歳出面では、新しい観点から必要性の検討を行い効率的な財政運営に努められたい。

平成22年度 特別会計の決算

	歳入	歳出	差引
国民健康保険(事業勘定)	10億4,780万円	9億6,160万円	8,620万円
国民健康保険(施設勘定)			
医科	9,643万円	9,011万円	632万円
歯科	5,643万円	5,271万円	372万円
老人保健医療事業	254万円	237万円	17万円
学校給食事業	6,699万円	6,615万円	84万円
下水道事業	7億1,091万円	6億8,638万円	2,453万円
介護保険	6億0,232万円	5億9,131万円	1,101万円
後期高齢者医療	6,993万円	6,984万円	9万円

特別会計決算審査の主な質疑

国民健康保険事業(事業勘定)

問 決算報告書の中に、補助金の適正交付を受けるため退職被保険者の職権適用を強化したとあるが、どのようなことなのか。

答 退職被保険者への適用の漏れをなくすため調査を行い、職権で適正に資格を適用させることです。

問 滞納理由の説明の中で制度不信等をあげられたが、内容はどのようなものか。

答 「健康に自信があるので保険を使うつもりがない」、「悪くなったときに制度が存続していても、本当に面倒をみてくれるのか」等の理由があげられます。

12月定例会

平成23年度
補正予算・
条例関係

一
般
会
計

前補正予算(第5号)に1億672万5千円を追加し、予算の総額を51億1481万7千円に改めるものです。

主な補正の内容は、地方交付税、障害福祉サービスの給付に係る自立支援給付費、子宮頸がん予防ワクチン接種委託料、河川愛護作業補助金、給食センター電気設備改修工事、減債基金積立金、教育厚生施設等整備基金積立金、公共施設維持管理基金積立金、町たばこ税県交付金および条例改正等に係る人件費の増額、下水道特別会計操出金および竜王小学校施設改修方針見直しによる工事設計業務委託料の減額などです。

(賛成多数で可決)

歳 出 (主なもの)		歳 入 (主なもの)	
(単位: 千円)		(単位: 千円)	
自立支援給付事業・自立支援医療給付事業	9,500	地方交付税 (普通交付税)	38,454
子宮頸がん予防ワクチン接種委託料	7,392	障害者自立支援給付費負担金 (国・県)	6,000
水田野菜生産拡大事業補助金	1,940	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金	3,696
河川愛護作業補助金	5,100	しがの水田野菜生産拡大事業補助金	1,700
竜王小学校改修工事設計業務委託料	4,150	河川愛護活動事業委託金	5,100
大規模改造工事实施設計業務委託料	△ 17,850	臨時財政対策債	24,181
電気設備改修工事	7,946	前年度繰越金	84,700
下水道特別会計操出金 (公共下水道)	△ 38,032		
減債基金積立金	130,000		
臨時財政対策債補正 (変更)	24,181		

特
別
会
計

☆平成23年度竜王町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)

主な内容は、医療費の増加に伴い、保険給付費の一般被保険者医療費が68万2千円、退職被保険者等医療費が17万3千円の増加、また今年度中の出産見込み件数により出産育児一時金が126万円の増加、および一般被保険者保険税還付金が100万円の増額です。

(全員賛成で可決)

☆平成23年度竜王町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

当初予算額から922万5千円を減額し、予算総額を6億2477万5千円とするものです。

主な内容として歳入では、琵琶湖流域下水道維持管理負担金返還金の増額および町債の増額です。これらの増額および人件費の減額等に伴う、一般会計からの繰入金の減額です。

歳出については、前年度の消費税納税額の確定により、今年度の中間申告・納税が必要となったための増額、燃料費の増額および人件費の減額、公債費償還利子の減額です。

(賛成多数で可決)

☆平成23年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入については、保険給付費負担として国、県、社

会保険診療報酬支払基金などの公費負担分が1662万9千円、一般会計からの繰入金337万4千円、繰越金496万3千円のそれぞれ増額です。

歳出では、保険給付費として実績を勘案し、居宅介護サービス給付費1045万円、居宅介護サービス計画給付費271万円、地域密着型介護サービス給付費652万円、介護予防サービス給付費446万円および介護予防サービス計画給付費52万円の増額です。

また、地域支援事業費として地域包括支援センター運営事業に係る人件費が29万1千円の増額です。

(全員賛成で可決)

条
例
改
正

◎竜王町非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例

平成22年12月10日に「障害者等の地域生活を支援す

るための関係法律の整備に関する法律」が公布され、障害者自立支援法において視覚障害により、移動に著しい困難を有する障害者が外出時において、障害者等に同行し、移動に必要な情報提供、移動の援護等が創設されたことにより、条項ずれが生じることから、改正するものです。

(全員賛成で可決)

◎竜王町消防団の設置等に関する条例および竜王町非常勤消防団員に係る退職償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

平成18年6月14日に「消防組織法」の一部改正がされたことに伴い、消防組織法に条ずれが生じることから、引用している条例を改正するものです。

(全員賛成で可決)

条例廃止

◎竜王町霊園建設審議会条例を廃止する条例

竜王町霊園建設審議会において平成19年3月7日付けで「各区に見合った墓地整備を行うことが適切」「墓地整備に対する自治区への補助は、『竜王町墓地等整備事業補助金交付要綱』『竜王町立環境衛生施設の管理および運営に関する規則』により継続し支援すること」との答申があり、各区において墓地等を整備され、整備費用について補助を行ってきたことから、当該審議会条例を廃止するものです。

(全員賛成で可決)



やまびこ作業所

平成22年1月に

内閣府において

「障がい者制度改

革推進会議」が設

置され、平成23年

7月には障害者基

本法の改正が行わ

れました。

障害の種類や程

度、家族の状況、

経済力、居住する

自治体にかかわら

ず、障害者自らが

選んだ地域で自分

らしく暮らせる社

会を実現するため

に、障害者基本法

や「障害者総合福

祉法(仮称)」を

着実かつ速やかに

立法化することを

強く要望する。

障害者総合福祉法(仮称)の 早期制定を求める意見書(要旨)

一 障害者総合福祉

法(仮称)制定に

あたり、「障害者

総合福祉法の骨格

に関する総合福祉

部会の提言」を最

大限尊重し、反映

させること。

二 障害者総合福祉

法(仮称)制定に

あたり、制度を円

滑に進めるための

地方自治体の財源

を十分に確保する

こと。

三 障害者総合福祉

法(仮称)制定に

あたり、障がい者

のニーズにあった

インフラ整備が進

められるよう配慮

すること。

第5回 臨時議会

去る11月24日に第5回臨時議会が開催されました。

条例改正1件、補正予算1件および町道路線の変更1件が上程されました。

◎竜王町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院の勧告により、公務員給与が民間給与と0・23%上回っていたことから、格差を解消するため平均0・2%の俸給引き下げを行うものです。改定に当たっては30歳代までは据置き、水準を上回っている50歳代の職員が在職する号俸に重点を置き改定されます。また、平成18年度から実施されてきた、給与構造改革における経過措置額についても、平成24年度については2分の1(上限1万円)を減額し、平成25年4月1日に経過措置額が廃止されます。

(賛成多数で可決)

◎平成23年度一般会計補正予算(第5号)

現在認められている予算

49億4716万4千円に今

回42万8千円を追加し、歳

入歳出予算の総額を49億

4759万2千円とするも

のです。

☆歳入の主な内容

前年度繰越金42万8千円

の増額です。

☆歳出の主な内容

東出地先のスクールバス

停の修繕費42万8千円の増

額。

☆債務負担行為補正

近年の夏期における猛暑

による熱中症から子どもを

守るため平成23年度から平

成34年度までとして小中学

校および幼稚園の空調機器

の保守付きリース業務を追

加するものです。なお、竜

王小学校の大規模改修は行

わず、10年後の改修を目指



町道小口広谷線の変更予定地

老朽箇所の改善に留める小規模改修を平成24年度に実施します。

(全員賛成で可決)

◎町道路線の変更について

小口地先の市街化区域内

における大規模開発におい

て町道小口広谷線の付け替

えが必要となるために、

290mの変更を認定する

ものです。

(全員賛成で可決)

みなさんの声を市政に届けます

一 般 質 問

10議員が22問

- ①防犯ビデオカメラを設置してほしいが
- ②電算経費の削減方法は？
- ③「地域コミュニティ計画」の支援は？
- ④誰もが元気に暮らせる交通対策を
- ⑤防災政策の拡大充実と防災計画の早期見直しについて
- ⑥今後の竜王町の目標人口14,000人を目ざして
- ⑦安心・安全な生活環境の確保を
- ⑧駐在所を交番に、また南消防出張所を竜王に
- ⑨竜王っ子に英会話能力の向上を
- ⑩竹山町長の再出馬について

竹山 兵司議員
小森 重剛議員
内山 英作議員
若井 敏子議員
松浦 博議員
西村 公作議員
貴多 正幸議員
岡山 富男議員
山田 義明議員
古株 克彦議員

勝るものな
しで、犯罪
に遭わない
起こさせな
い一人ひと
りの意識や
構えが問わ
れています
各地域で
は、防犯パ
トロールの
実施やセン
サーライト
などを取り
付け玄関な
どを明るく

答

犯罪抑止や未然防止は啓発に

問

美松台自治区では、出入口5か所に5台の防犯ビデオカメラを設置されています。犯罪等の未然防止対策について伺う。



竹山兵司議員



町内設置の防犯カメラ

防犯ビデオカメラを
設置してほしいが
各自自治会に防犯カメラの
設置は考えておりません

することや犬の散歩時間を子どもたちの下校時間に合わせることも、また警察の承認を得て青色回転灯をつけたパトロール車で活動されているところもあります。防犯カメラは高価なもの

であり、プライバシーなど管理上の課題もありますので、防犯カメラの設置は考えておりません。

一般質問

問 経費の削減については、機器の更新時期の延伸、台数の適正管理、システム保守など

答 財政健全化をめざし努力しているさなか、毎年1億円を上回る支出を強いられることは大きな負担となる。今後の費用削減策および電算運用と住民への充実したサービスの提供を含めた行財政運営に対し、どのような取り組みをするのか伺う。

問 行政事務における電算関係費用は、維持的経費および投資的経費の総額が、毎年約1億円を上回る支出状況にある。また、今後の見通し額においても同じ状況が続くとされている。



小森重剛議員

電算経費の削減方法は？
改善に向けた取り組みを行っていきます！

また、電算整備においては、全国的に広がるつつある

基礎技能の習得とセキュリティに対する知識と対応能力の向上を進め、よりよい住民サービスの提供に努めます。

の複数年契約、システム導入後の長期活用など地道な取り組みを行っております。しかし、これ以上の効果的な削減策については限度があり困難な状況にあります。次に、今後の電算運用については、職員の具備条件としてコンピュータを扱う

※クラウドコンピューティングや広域的なシステムの共同利用などについて、研究と検討を進め効率的な運営に向け努力していきます。
※ネットワーク上のどこかにあるサーバ、データ、ソフトウェアなどを利用して情報処理を行うこと



役場で使用されている端末機

計画づくりへの支援は、何から話し合うのか、そして、重点的に取り組む課題、具体的な施策、担い手やスケジュールなどの作成など、他市町のまちづくり計画書

答 目的は、昨年度実施の自治会の健康診断調査結果を受けて、それぞれの自治会の特徴を生かした活動や、課題解決に向けた方策について整理し、今後の方向性を見出すため、自治会独自のまちづくりの思いを広げていきます。

問 第五次竜王町総合計画の中で、自治会での地域コミュニティ計画づくりの支援をされるが、この目的・支援内容および町と自治会の連携のあり方について伺う。



内山英作議員

「地域コミュニティ計画」の支援は？

町と自治会の連携強化

などを情報提供し、自治会が話し合いを行われる中に、専門家や町職員が参加します。町と自治会の連携は、第五次竜王町総合計画の中で、「地域コミュニティの絆づくりを進めるため、「コミュニティ自治の持続と推進」、「コミュニティ活動への支援」を行うこととして



地域ビジョンの話し合い（松が丘自治会）

がりである「絆」を大事にされ、地域コミュニティの重要性を再認識することで、そのきっかけづくりに努力を傾注していきます。



若井敏子議員

問

外出支援ボランティア
ンティアスマイル

は障がい者や介護認定をうけている人たちが、病院や買い物に行くのに大変重宝がられている。

しかし、高齢で車に乗れなくなった方、障がいにも介護にも当たらない、むしろ元気な方たちが、便利な公共交通の整備を求めている。この声にどう応えるのか伺う。

三重県の玉城町では総務省の補助金を受けてオンデマンドバスを運行している。運営は社会福祉協議会、乗り降りはスマートフォンからのバス停リストから選択し予約するシステム、高齢者が公民館などで趣味活動などに参加し、元気に暮らしている。

玉城町の取り組みを研

誰もが元気に暮らせる交通対策を
システム作りに取りかかります

究して活用していただきたい。

答

童王町全体の公共交通のシステムをつくる業務を発注しました。こ

の中で、国や県の補助金を活用していくよう検討していきます。実施に当たっては利用者が少ないと行政経費を圧迫し、継続できないので、利用者の安定的な利用促進が重要です。対策案等がございまし



玉城町の「元気バス」(玉城町のホームページより)

問

町民の求める暮らしやすい町の礎は「安全・安心」が保障されていてこそ、煌くまちづくりが実現できると確信している。

町民の命と財産を守る放射能被害も含めた防災政策の拡大充実、地域防災計画と避難時・避難所の管理運営など総合的な計画の見直しについて伺う。

自助・共助・公助および協働の自主的機能が効果的に発揮できる防災訓練のあり方を伺う。

答

町民皆様から求められる暮らしやすい町の礎は「安全・安心」の確保だと認識しています。災害をなくすことはできませんが、減災への取り組みは普段からの備えと



松浦 博議員

防災政策の拡大充実と
防災計画の早期見直しについて
地域防災計画を見直し中

して、防災への意識啓発が重要であり、消防団や自主防災組織に活動いただいています。町では防災拠点の整備や資機材・飲料水など備蓄資材の充実整備、関係機関との連携強化に努めています。

また、町域のすべての人が確実に情報を享受できるよう、地域防災情報システムの整備に努めます。訓練や啓発には出前講座を創意工夫して実施します。

地域防災計画は災害対策基本法に基づき策定されていますが、当町では今年度から2カ年をかけた見直しをします。経過の中で住民説明とこれまでの実施内容の検証を行いながら進めます。



町防災会議

一般質問



西村公作議員

問

近年、少子高齢化が叫ばれて久しいが、竜王町も例外ではなく進んでいる。それをくい止めるべく定住人口を増やす計画として、第五次総合計画では、既存集落の周辺において「地区計画を活用した住宅開発を促進します」とうたっているが、市街化調整区域でそのような開発をできるのか。また、どのような方法でできるのか。

答

第五次竜王町総合計画において、まちづくりの重要な要素である人口問題について、10年後の目標人口を1万4千人としています。市街化調整区域内においては「竜王町市街化調整区域における地区計画制度の

今後の竜王町の目標人口1万4千人を目ざして地区計画でまちづくりができます

運用基準」により地区計画のエリアを設定することで開発整備を進めていくことが可能となっています。今日までも、アウトレットモール開発における「薬師地区地区計画」や「竜王町総合庁舎周辺地区地区計画」などがあります。具体的方法ですが、この「運用基準」に定める「既存集落型」として該当地区ごとに条例を定める必要があります。住民の発議、合意形成に基づき



まちづくり煌きフォーラムの様子

問

近江八幡市竹町地先において、一般廃棄物処理施設が平成26年度の稼働に向けて計画をされていますが、町民の安全・安心を守る立場から、近江八幡市に對してどのような対応を取られているのか。また、今後どのような対応を考えているのか、さらには、周辺自治会へどのような対応を考えているのか伺う。

答

近江八幡市への情報の伝達・開示を確実にすること、本町住民の不安や危惧を払拭すること、そのために住民説明会などを状況に応じて開催することなどを申し入れているところですが、今後におきましては、住



貴多正幸議員

安心・安全な生活環境の確保を町民の不安や危惧を払拭されるよう努力します

民説明会同様に生活環境影響調査結果の報告はもちろんです、その都度スケジュールの確認や施設計画についても意見反映できる意見交換会や関係自治会の情報交換会の開催などを引き続き近江八幡市へ申し入れしていきたいと考えています。また、現在本町が行っている環境保全にかかる調査業務を町域全体の間でも検討していきたいと考えています。町住民の不安や危惧を払拭されるよう対応することが責務と考えています。また、西横関自治会は施設建設予定地から500、600mにあるところですので、地元竹町と同程度の安全を確保いただくことが必要であり、大切であると考えているところです。



施設建設予定地（竹町地先）



岡山富男議員

駐在所を交番に、また南消防出張所を竜王に

交番設置へ要望活動

問

竜王駐在所の平成23年10月末の犯罪認知件数は、近江八幡警察署管内の交番・駐在所の中で2番目に多くなっている。最近では町内の駐車場で人身事故が多発していると聞く。できるだけ早く駐在所を交番に格上げされるよう、どのような活動をしたのか。

また、日野消防署南消防出張所は東近江消防署管内の中でも古く、建て替えの議論があると聞いている。建て替え時には町内に消防出張所ができるように要望はしているのか。

答

毎年「駐在所を交番に」という要望活動をしています。本年度も11月9日に近江八幡警察署長へ、12月5日に滋賀県警察本部長へ要望を行いました。近江八幡警察署長からは、竜王インターを軸に滋賀県の交通要衝となり、本町のみならず今後、近隣周辺で様々な開発やプロジェクトの進展による人の流れ、動向や動態、それからアクセス道路としても様々懸念されることから、署を挙げて本部へ対応いただいていることの話をお聞きしました。

次に日野消防署南消防出張所で、様々な機会に



現在の南消防出張所

問

グローバル化時代に対応するため構造改革特区の認定を受け小学校一年生からの「英語科」授業はできないのか。

また、町民の皆様方に小学生の英語学習の理解や醸成のために、有線放送を通じて小学生による英会話や朗読を放送できないのか。

答

まずは新学習指導要領に基づく、教育課程の定着と充実をめるとともに「英語暗唱大会」や「英語検定」の充実発展を検討しています。今年度はミシガン州シーマー市へ中学生の派遣の年でしたので、派遣事業が効果を上げて一層の充実を図るために、1月に事業報告会を計画しています。



山田義明議員

竜王つ子に英会話能力の向上を「英語暗唱大会」や「英語検定」の充実発展に努めます

有線放送については、A・L・T等の活用によるミニ英会話やワンポイントレッス

ン等の企画で、子ども達の英会話能力の向上や国際教育の醸成に努めます。



竜王町子ども英語暗唱大会

一般質問・その他質問



古株克彦議員

問 来年6月に予定されている竜王町長選挙での再出馬について伺う。

答 私は就任当初より、財政の健全化を訴え続けてまいりました。行財政改革を住民皆様に繰り返し説明しながら、平成22年度、平成23年度を健全化への取り組み重点期間とし、後半に入りようやくにして、実質公債費比率の悪化に歯止めがかけられたことは、目に見える答ではありますものの、財政状態を判断する基準であります18%の数値には引き続き行財政改革を継続していかねばなりません。

一方、第五次竜王町総合計画実現に向かっては、人を大切に、そして人口増加へ向かう施策を打ち出

竹山町長の再出馬について
二期目に向かって覚悟を
新たにしています

していくことを、まちづくり煌きフォーラムで提起させていただきました。財政健全化への継続、および第五次竜王町総合計画を軌道に乗せること、新しい企業立地を一日でも早く実現させること、災害に強いまちづくり等、課題解決に向かつてやらないことが山積みでござい

ます。皆様のさらなるご指導を賜りながら、不肖をも省みず、引き続き町

引き続き町



竹山町長答弁

竹山兵司議員

問 町道西通り線の歩道の設置について

答 町道西通り線は、山之上から

鷺川までの総延長2932mで、平成21年度にまちづくり交付金事業を活用し、「竜王中央地区中心核整備」に併せて、県道小口川守線から町道東西線までの間443mの歩道整備をしました。また、防災センター敷地区間は、防災センター建設時に85mの歩道整備をしました。今後は、町全体の道路整備計画の中で検討します。

こんな質問もしました

問 TPP問題と環境こだわり農産物等について

答 農家への対策として、黒大豆

の早取りの定着化、農産物加工による自家商品化、契約野菜の栽培などを推進し、技術指導・経営に対し農業普及員の駐在をお願いしています。

TPPについては、平成23年11月30日の全国町村長大会で「地域経済、社会を崩壊させるTPPへは参加しないこと」が満場一致で採択され、今後も滋賀県町村会と協調して対応します。

問 竜王小学校にPTA集会の駐車場の設置について

答 毎年開催の運動会、PTA集

会、入学式や卒業式には、

多数の保護者が来校され、運動場や幼稚園、歯科診療所の敷地、綾戸自治会や苗村神社のご理解で学校周辺道路などを駐車場に活用させていただいています。タイヤなどの轍で運動場が傷み、利用後は職員で整備に努めています。10年後の竜王小学校の改築までには対処します。

問 岡屋地先の県有地の利活用等について

答 現在、工業団地開発に向けた埋蔵文化財調査などが県で行われています。1期地区

(22ha)は平成25年度から、2期地区(10ha)は平成28年度から造成工事が着手され、第1期は平成27年度、第2期は平成29年度に分譲開始の予定です。

その他質問

内山英作議員

問

「まちづくり条例（自治基本条例）」の制定について

答

現在、町民参加のあり方や協働の仕組みおよび地域活動の促進手法などについて取り組みをしています。「協働のまちづくり指針」の素案をもとに、いわゆるまちづくり条例的な、町民の参加・参画によるまちづくりの指針づくりに取り組んでいます。

問

移動手段の確保について

答

自家用車以外の移動手段の整備は、重要な課題です。「竜王町公共交通のあり方検討調査」業務を通じて、竜王町全体での実施方針を関係者・機関の皆さんと一緒に決定していきます。

問

災害ボランティアの派遣登録について

答

現在、平常時から「災害救援ボランティア」も含む「竜王町ボランティアセンター」が設立されており、登録のお願いをしています。今後も、多くの方たちにボランティアセンターへ登録いただけるよう、社会福祉協議会と調整をしながら呼びかけていきます。



被災地での給水活動

若井敏子議員

問

竜王小学校の改修について

答

竜王小学校の改修工事設計業務は415万円で委託し、トイレと老朽部分の改修をし、教育環境整備にしっかりと対応したいと考えています。

避難所として、災害時など小さな子どもやお年寄りにも使用可能なトイレの整備、家庭科室では食事の対応可能な整備をしたいと考えています。

問

国民健康保険の一部負担金減免要綱の活用状況について

答

要綱は7月1日に施行しました。これは、世帯主などが災害などで死亡したときや、干ばつや失業などで収入が減った時など、条例に適合する場合、国保一部負担金の徴収猶予または免除する制度です。町広報で周知しました。新年度の被保険者証交付時にもお知らせします。施行以来問い合わせが一件ありましたが、対象者ではありませんでした。

問

無料低額診療事業の実施を

答

無料低額診療事業は低所得者などの生活が困難な人たちが経済的な理由で医療が受けられないことのないよう無料または低額で診療を行う事業です。

竜王の内科・歯科診療所は、この事業を行う場合の基準をいくつか満たしていません。今日の経済情勢下で生計困難者に必要な医療を保障する上でこの制度はその役割を果たしていると認識しています。

問

町職員のメンタルヘルス対策を

答

町職員の健康状態は異常なし

西村公作議員

問

IBMグラウンド跡地の活用について

答

本町において定住人口を確保するため、周辺環境との調和を図りながら開発のできる「松陽台地区地区計画」の決定を行いました。

しかし、日本経済の不況もあり、現在は未着工となっていますが、



IBMグラウンド跡地

が21・9%、要観察が34・9%、要指導が9・6%、要精密検査が33・6%で約8割の職員が何らかの異常を抱えています。メンタルの不調で休暇を取っているのは3人です。メンタル対策についてはカウンセラーによる聞き取りとアドバイスを実施しています。

今後、カウンセラーなどの専門職の配置は難しいが、長時間労働の抑制を図るなど対策を講じます。

総務産業建設常任委員会

①日野川・祖父川の竹木伐採について

一級河川の堰堤や河川内に繁茂する竹木は、水の流れを阻害し、堰堤保全の妨げでもあります。

県では平成21年度から平成26年度にかけて竹木伐採を町内河川の約18kmにわたって実施中です。

今回、竹木の繁茂状態と伐採後の維持管理について視察し、調査を実施しました。

主な質疑応答

問 一回目は県が伐採し、二回目以降は河川愛護活動で維持管理するのか

答 地元の協力が得られないかと考えています。

問 この伐採後の河川愛護活動の費用は、今日までされてきたのとは別なのか

答 今まで同様に、除草作業を実施していただければ別に補助が受けられます。川ざらえ、竹木伐採は別に県が費用をみています。

②防災について

台風12号、15号、水位観測関係、水防本部体制、避難情報伝達、自主防災組織、地域防災計画の見直しについての調査を実施しました。

今回は、台風による河川水位の上昇で避難準備情報の発令や避難に関する諸問題について説明がありました。

当町での水位、通報基準の観測点は祖父川・鵜川橋と日野川・安吉橋地点で、その水位で判断し状況に応じて避難準備情報などを発表されています。

主な質疑応答

問 祖父川では特別警戒水位が示されていないのはなぜか

答 水防法の中で河川が決められており、祖父川は特別警戒水位、避難判断水位は設定されていません。

問 避難住民の取り組みや、災害時要援護者の避難について指導をしているのか

答 防災訓練で避難訓練を予定していました。避難所の場所が適切であるか、今後検討が必要です。要援護者の避難は、まず身内、近隣の人などをお願いしたいです。例えば川守地区では、災害時要援護者に対して誰が援護するか決められています。

教育民生常任委員会

①竜王小学校大規模改修について

竜小大規模改修工事は、2億円程度の予算を見込み、トイレ改修、屋上防水工事、外壁塗装、職員室の狭小改善、壁・床等の塗装、家庭科室改修、カーテンの更新、黒板の塗り替えの説明がありました。

竜小を今後25年間使える施設として改修すると7億円程度が見込まれ、質的な改善が低い割りに投資金額が大きいこと、

また、竜小を地域の防災センターとして利用を考えた場合等の理由から、10年後の改築に向けての意向があるとの説明がありました。



竜王小学校の視察

答 防災訓練で避難訓練を予定していましたが、避難所の場所が適切であるか、今後検討が必要です。要援護者の避難は、まず身内、近隣の人などをお願いしたいです。

例えば川守地区では、災害時要援護者に対して誰が援護するか決められています。

答 空調設置、トイレ改修事業は、大規模改修の前倒しをするということ。学習環境を整えながら、10年後の建て替えを見据えて事業を進めます。

問 以前、竜小は平成24・25年度に大規模改修をすると言明を受けてきたが、小出しの改修に変わったのか

答 空調設置、トイレ改修事業は、大規模改修の前倒しをするということ。学習環境を整えながら、10年後の建て替えを見据えて事業を進めます。

②学童保育施設の整備について

竜王小学校内の空き教室を活用し運営されている学

問 施設の主体構造は何か

答 軽量鉄骨プレハブで内装、外構、水道工事なども含まれています。

議会基本条例推進特別委員会

①議会報告会について

町民皆様の意見を聴く機会をつくるためにテーマを決めて、本年6月末に懇談会を開催することになりました。

②調査活動等について 他市町議会の議会運営状

況を調査し、参考とするために、近隣市町の議会を視察することにしました。また、竜王町議会の「申し合わせ事項」については、今後、議会基本条例の「要綱」をつくる中で検討することとしました。

地域活性化特別委員会

①県有地（岡屋工業団地）の開発・分譲に向けて

県有地については当初平成25年度から分譲開始としていたが、各種調査の状況の変化を踏まえ、造成工事の2期に分け、分譲開始の予定が平成27年度と29年度になりました。

工業団地の概要は、総面積が52・6 haで、分譲される面積は32・8 ha（7区画）です。

実施工程は1期工事が平成24年度までに測量調査設計等を実施し、平成25年度から26年度に造成工事を実施。2期工事は平成27年度まで埋蔵文化財調査、平成28年度に造成工事となります。

主な質疑応答

問

調整池の容量と祖父川への放流の兼ね合いはどうか

答

50年に一度の災害を想定しての3万2000㎡の調整池です。

②（仮）ワークマン西日本物流センターについて

小口工業団地に進出する同センターは現在、開発に係る埋蔵文化財の調査を実施中です。平成24年の4、5月頃から造成工事に着手し、平成25年5月頃に竣工し、6月頃に稼働開始が予定されています。



（仮）ワークマン西日本物流センター（イメージ図）

おろろ いきいき人生

岡屋在住 徳田 定夫さん

人生八十年の年を過ぎ、良くぞ今まで頑張れたなと思います。

小学一年の時、父は召集令状で軍人として中国へ、母と兄弟三人の長男として一町五反の田を作り、小学二年の時に父は、中国の戦場で傷痍軍人として病院生活となり、厳しい生活でした。

今でいう中学二年の時、国の食糧難のため、少年農兵隊として全国へ動員され、その年に終戦を迎えました。

いろいろありましたが、五十七歳の時から野菜を作り始めました。今は、妻と休みの時は若い人の手伝いを受け、アグリパーク、道の駅、京都市場へと出荷しています。また、竜王の特産として漬物を年中出荷しています。なかなか難しいことではありますが、お客様が安心して喜ばれるようにと



定夫さん宅のハウスで（隣は奥さん）

心がけております。

平成二十三年は、本当に多難な年でありました。また、今年も続くようですが、お互いに心を合わせて、思いやりの心で、この難関を乗り切って行きたいものです。人生いろいろ、体力の続く限り面白く頑張っていこうと思います。

「お詫びと訂正」

前号（157号）2ページでLED電球購入促進事業の予算について「総額400万円」と記載しましたが、「総額120万円」に訂正し、お詫び申し上げます。

編集後記

阪神淡路大震災から17年が経過、そして昨年の東日本大震災から間もなく1年が経ちます。いまだに3400名あまりの方々が行方不明です。現地で避難されている方々、仮設住宅に住んでおられる方々は厳しい寒さを迎えておられると思います。ぜひお元気でこの冬を乗り切ってほしいものです。

議会広報特別委員会

委員長 内山 英作
副委員長 山田 義明
委員 小森 重剛
貴多 正幸
菱田 三男
蔵口嘉寿男

竜王町議会広報

発行・竜王町議会
編集・議会広報特別委員会

〒520-2592 滋賀県蒲生郡竜王町小口3
☎（0748）58-3713